

令和8(2026)年度

「運営に関する計画」

大阪市立西中学校

令和8年4月

1 令和8年度 学校教育目標

「豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生き抜く生徒を育成する。」

2 現状と課題

これまでの生徒、保護者及び教員へのアンケートによる意識調査や全国学力・学習状況調査、大阪府中学生チャレンジテスト(大阪市版チャレンジテスト plus)をはじめとした各学習到達度調査の分析、さらに学校運営協議会からの意見を踏まえ、次のような現状と課題が見えてきた。

- 1 本校は、生徒たちが落ち着いて学校生活が行える、安全で安心な教育環境を保つことができている。
- 2 「いじめについてどんな理由でもいけないことだと思う。」という認識は高いものの、現実には、言ったり、したりしてはいけない人権意識の希薄さに起因した言動が散見された。
- 3 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における対全国比との差が大きい。
- 4 主体的・対話的で深い学びの実装ができるよう授業の質の改善が必要である。
- 5 家庭格差はあるものの、家庭学習の定着に課題がある。
- 6 時間外勤務時間は年々減少している。一方で、新任教員や経験年数の少ない教員が増え、効率的な時間の使い方や長時間にわたり部活動に携わることに課題がある。

3 学校運営の中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 1 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する割合を 95%以上にする。(R7:91.0%)
- 2 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する割合を 90%以上にする。(新規)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する割合を 80%以上にする。(新規)
- 2 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する割合を 90%以上にする。(R7:83.2%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 1 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する割合を 80%以上にする。(新規)
- 2 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に則り、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 30 時間以下とする(R7:34 時間 56 分)。また、時間外勤務時間について、月 80 時間以上実施する教員をゼロにする(R7:4人、合計 8 回)

4 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 1 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する割合を 92%以上にする。(R7:91.0%)
- 2 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する割合を 80%以上にする。(新規)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する割合を 70%以上にする。(新規)
- 2 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する割合を 85%以上にする。(R7:83.2%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 1 生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する割合を 70%以上にする。(新規)
- 2 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月34時間以下とする(R7:34時間 56 分)。また、時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロに近づける(R7:4人、合計8回)。

大阪市立西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する割合を 92%以上にする。(R7:91.0%)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

教育相談体制を充実させ、生徒が一人で悩みなどを抱え込まないように、相談しやすい環境を整える。

(1-1 いじめへの対応・1-2 不登校への対応)

指標

生徒向けの教育相談を年2回以上実施する。

取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

いじめや何かトラブルがあった際に、生徒に寄り添った指導や対応を行う。

(1-3 問題行動への対応)

指標

長期休み明けに被害調査を行うとともに、生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「いじめや暴力、トラブルがあったら、先生を交えて話し合いで解決できると思う。」に対して、肯定的に回答する割合を 80%以上にする。(R7:79.2%)

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

SNS 等を利用する際のトラブルを未然に防ぐ術を身に付けられるよう情報モラル教育を推進する。

(1-3 問題行動への対応)

指標

情報モラル教育についての年間計画を作成し、各教科・領域等で1回以上、テーマに応じた指導を行う。(新規)

大阪市立西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか。」に対して、肯定的に回答する割合を 80%以上にする。(新規)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】

平和学習、多文化共生、障がい者の人権、性の多様性をはじめとする様々な人権課題に目を向けた人権教育実践をすすめるため、人権研修に積極的に参加し、人権課題に対する理解を深める。

(2-3 人権を尊重する教育の推進)

指標

全教員が人権に係る校内外の研修に年に1回以上参加し、教員の人権感覚を向上する。

取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】

道徳の授業及び特別活動や総合的な学習の時間を通じて、自己と他者との違いを認識し尊重する心を育成する。

(2-1 道徳教育の推進)

指標

道徳科における校内研究授業および研究協議を年3回以上行う。

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

「命」「家族(人間関係)」「キャリア」を性教育の3つの柱とし、自他の命を大切に、集団生活の場でもよりよい人間関係を築くことをめざす。

(2-3 人権を尊重する教育の推進)

指標

3つの柱を系統的に据えた性教育の年間計画を作成し、性教育講演会を年1回以上実施する。

大阪市立西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する割合を70%以上にする。(新規)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

主体的に得た知識(インプット)を活用し、班学習やグループ活動を行い、対話的な学びを充実させる(インテイク)。また、調べたことなどの成果を発表する機会を設け、深い学びにつなげていく(アウトプット)。

(4-2「主体的・対話的で深い学び」の推進)

指標

教職員を対象とした年度目標アンケートにおける「授業で学んだ知識・技能を活用して、生徒が主体的な活動(調べ学習や発表等)ができるよう授業改善した。」に対する肯定的回答が50%以上にする。(新規)

取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】

「学習会」等を実施し、基礎学力の定着を図る。

(4-1 言語活動・理数教育の充実)

指標

生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「難しい問題でもあきらめずに取り組もうと思う。」に対して肯定的回答を80%以上にする。(新規)

大阪市立西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する割合を 85%以上にする。(R7:83.2%)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】

運動やスポーツの力を知り、それらが自分の生活にどのように繋がりどう生かされていくのかを考える力を育成する。

(5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)

指標

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問項目における「中学校を卒業した後も、自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 88%以上にする。(R7:86%)

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】

多様な形で運動やスポーツに関わる楽しさや必要性を考え、感じさせる。

(5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)

指標

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問項目における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツへの様々な関わり方について、様々な人が集まって交流したり、つながりや一体感を感じたりすることに、興味や関心がありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82%にする。(R7:80.6%)

取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】

生徒が積極的・自主的・主体的に運動やスポーツに取り組み、実生活や社会で実践していける思考力・判断力・表現力を育成する。

(5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)

指標

生徒委員会が主催する運動やスポーツに関わる校内での取組を、年1回以上実施する。

大阪市立西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【学びを支える教育環境の充実】

生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する割合を70%以上にする。(新規)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【基本的な方向6 教育 DX の推進】

教材を配信する等学習者用端末を活用して、家庭学習の習慣を定着させる。
(6-1 ICT を活用した教育の推進)

指標

生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「学校の授業以外で普段(平日)1日当たりどれくらい勉強をしますか。」に対して「全くしない」という回答を20%以下にする。(新規)

取組内容②【基本的な方向6 教育 DX の推進】

Google Classroom を使って、生徒が学習者用端末を日常的に有効活用できるようにする。
(6-1 ICT を活用した教育の推進)

指標

授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の55%以上にする。(R7:53.5%)

取組内容③【基本的な方向6 教育 DX の推進】

教員の ICT 活用の推進を図る。
(6-1 ICT を活用した教育の推進)

指標

生徒を対象とした年度目標アンケートにおける「授業ではデジタル教材やICT機器をよく使っている。」に対して、肯定的に回答する割合において、前年度数値を上回る。(R7:91.4%)

大阪市立西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

【学びを支える教育環境の充実】

教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 34 時間以下とする(R7:34 時間 56 分)。また、時間外勤務時間について、月 80 時間以上実施する教員をゼロに近づける。(R7:4人、合計8回)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

スクールサポートスタッフ(SSS)、特別支援教育支援サポーター、学力向上支援サポーター等を配置し、教員の負担軽減を行う。

(7-1 働き方改革の推進)

指標

教員を対象とした年度目標アンケートにおいて、「各校に配置される会計年度任用職員および各職員を活用することにより、自身の業務の負担軽減を行っている。」に対して、肯定的に回答する割合を 70%以上にする。(新規)

取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

効率的に業務を遂行することにより、勤務時間内に業務を終えることを推進し、時間外勤務を減らす。

(7-1 働き方改革の推進)

指標

教員を対象とした年度目標アンケートにおいて、「効率的な勤務が進み、時間外勤務を減らすことができている。」に対して、肯定的に回答する割合を 70%以上にする。(R7:68.2%)